

# 2026年3月期 第3四半期 決算補足資料

---

株式会社 き も と

2026年1月29日

**1 2026年3月期 第3四半期 決算について**

2 2026年3月期 通期業績予想

3 高機能材料事業

4 デジタルツイン事業

5 第6次中期経営計画進捗

6 会社概要

# 2026年 3 月期 第 3 四半期 実績 前年比 [連結]

■ 通信機器向けは上期に受注が集中した反動もあり低調でしたが、電子部品製造工程向けが堅調で売上・利益に寄与しました。輸送機器向けやバッテリー向けは伸び悩んだ一方、産業機器向けは順調に推移し、売上を下支えしました。

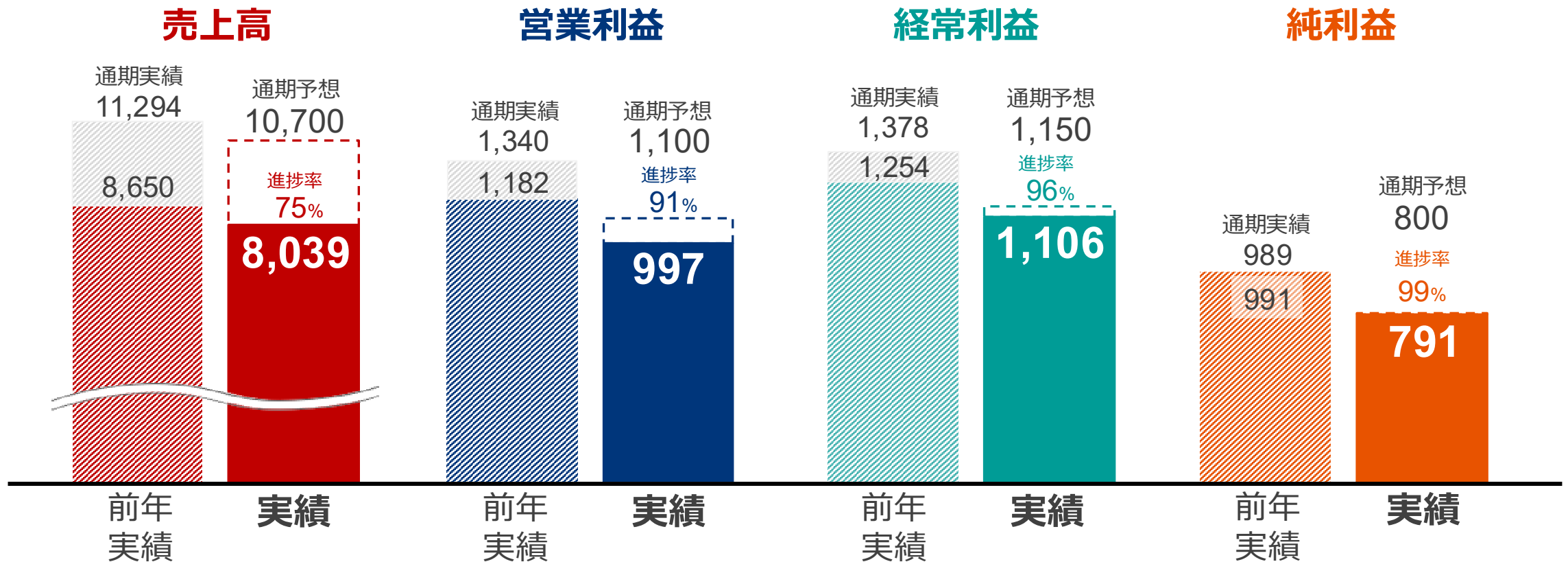
	2026年 3 月期 通期 予想	2026年 3 月期 第 3 四半期	2025年 3 月期 第 3 四半期	増減	増減率(%)
単位：百万円					
売 上 高	10,700	8,039	8,650	▲ 611	▲ 7.1
売 上 総 利 益	-	3,262	3,480	▲ 217	▲ 6.3
販 売 管 理 費	-	2,264	2,298	▲ 33	▲ 1.5
営 業 利 益	1,100	997	1,182	▲ 184	▲ 15.6
経 常 利 益	1,150	1,106	1,254	▲ 148	▲ 11.8
税 引 前 利 益	-	1,105	1,280	▲ 175	▲ 13.7
純 利 益	800	791	991	▲ 199	▲ 20.1
一株当たり純利益（円）	17.40	17.55	21.48	-	-



## 損益計算書 前年・予想比 [連結]

- 通信機器向けは上期反動で低調でしたが、電子部品製造工程向けが堅調で売上および利益に寄与しました。輸送機器向けやバッテリー向けは見込みをやや下回ったものの、産業機器向けが銘板用途を中心に順調に推移しました。

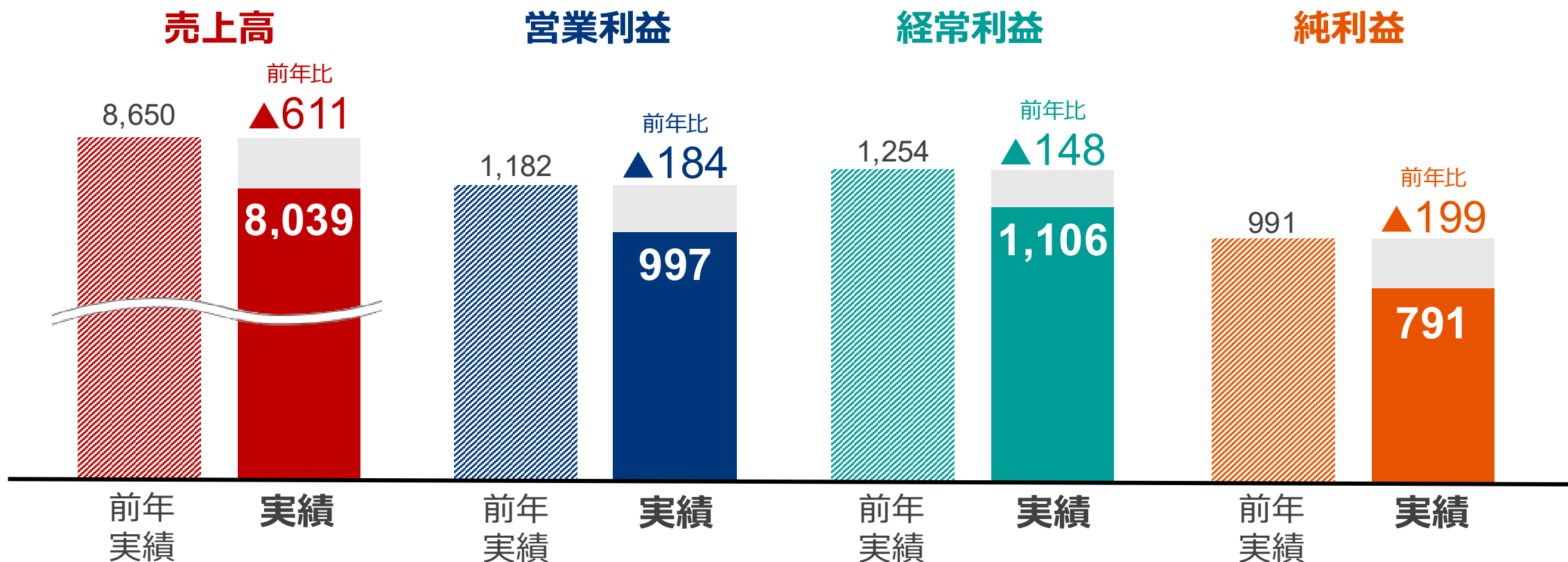
単位：百万円



## 損益計算書 前年比・主な変動要因 [連結]

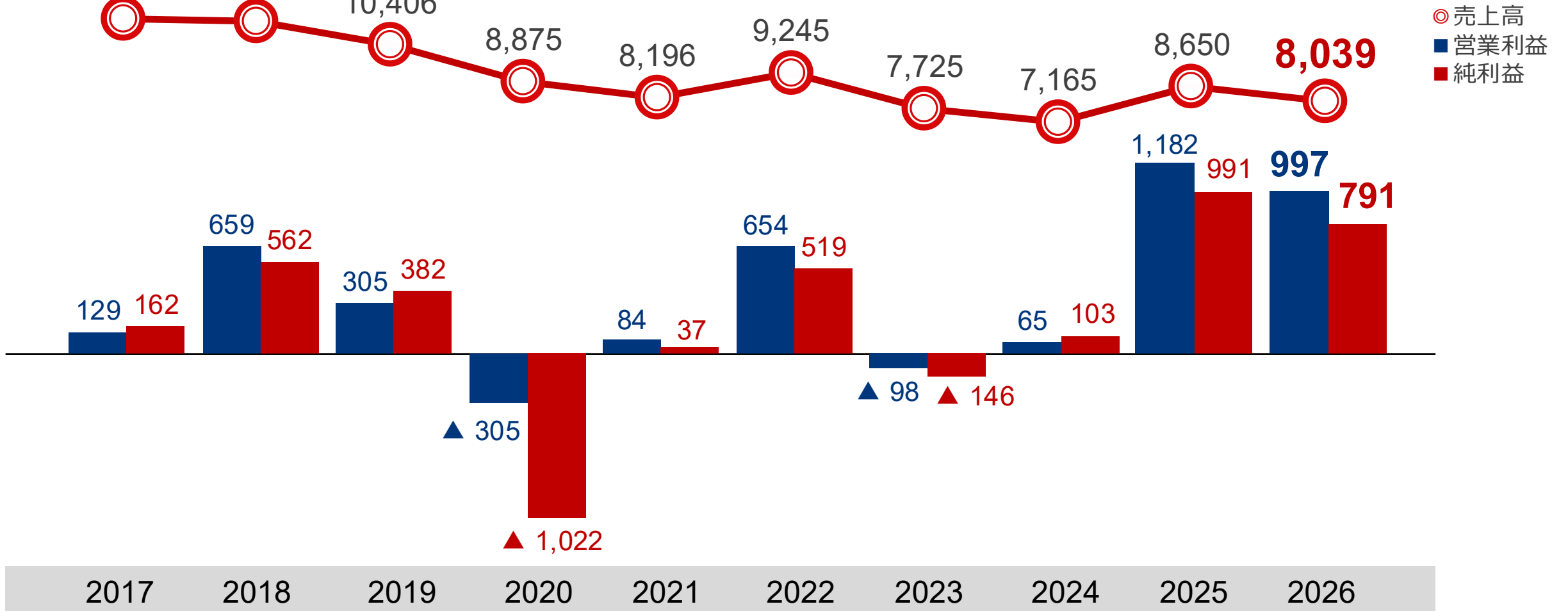
- 輸送機器向けや通信機器向け、バッテリー向けの販売が低調に推移し、売上高は前期比で減少しました。電子部品製造工程用製品や産業機器向け製品の貢献はあったものの、米国での稼働率低下などの影響を受け、減収減益となりました。

単位：百万円






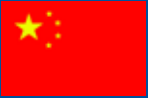
# 売上高・営業利益・純利益 [連結] 2017年3月期～2026年3月期 第3四半期比較

単位：百万円



KIMOTOグループ業績

単位：百万円

		日本	アメリカ	スイス	中国
					
売上高	2026年 3 月期 第 3 四半期	7,556	437	369	72
	2025年 3 月期 第 3 四半期	6% DOWN 8,024	39% DOWN 719	34% DOWN 559	20% DOWN 90
営業利益	2026年 3 月期 第 3 四半期	1,215	▲ 165	▲ 10	▲ 57
	2025年 3 月期 第 3 四半期	1,247	▲ 58	38	▲ 36

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

# KIMOTOグループトピックス

## 日本



通信機器向けは在庫調整の影響で低調だった一方、電子部品製造工程向けは堅調に推移しました。輸送機器向けは自動車産業の低迷を背景に伸び悩み、バッテリー製造工程向けも生産計画見直しにより想定をやや下回りました。産業機器向けは順調に推移しました。

## アメリカ



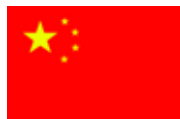
市場環境の影響を受け生産量が減少する中、収益改善に向けて事業構成の見直しおよび営業戦略の再構築を進めております。

## スイス



自動車産業および住宅市場の低迷の影響を受け、厳しい事業環境が継続しましたが、進行中の複数のプロジェクトを通じて収益改善を目指します。

## 中国



3D関連案件の受注減が続いているものの、3D新サービス「SPLAT TWIN」の受注拡大を見据え、技術力強化および生産体制の整備を進めております。



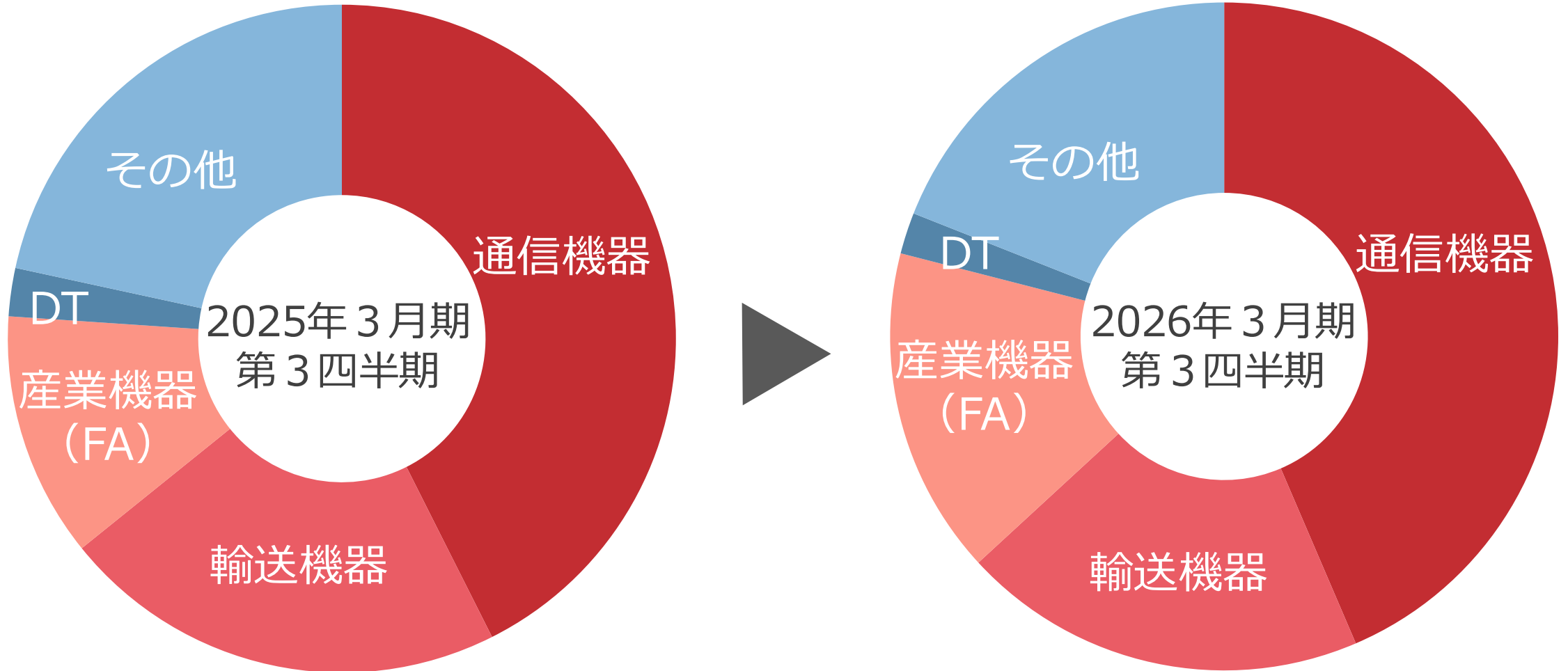
【日本】 売上構成

単位：百万円

	2025年 3 月期 第 3 四半期	構成比	2026年 3 月期 第 3 四半期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	7,837	97.7%	7,405	98.0%	▲ 432	▲ 5.5%
通信機器	3,416	42.6%	3,290	43.5%	▲ 126	▲ 3.7%
輸送機器	1,735	21.6%	1,481	19.6%	▲ 253	▲ 14.6%
産業機器	952	11.9%	1,197	15.8%	245	25.7%
その他	1,733	21.6%	1,435	19.0%	▲ 297	▲ 17.2%
デジタルツイン事業	187	2.3%	151	2.0%	▲ 35	▲ 19.1%
3D	53	0.7%	34	0.5%	▲ 19	▲ 36.1%
2D	52	0.7%	65	0.9%	13	24.6%
コンサルティング	2	0.0%	17	0.2%	15	604.2%
その他	78	1.0%	33	0.4%	▲ 44	▲ 57.4%

## 【日本】売上構成

■ 通信機器向けは概ね計画通りに推移し、産業機器向けが売上を下支えする結果となりました。



【アメリカ】 売上構成

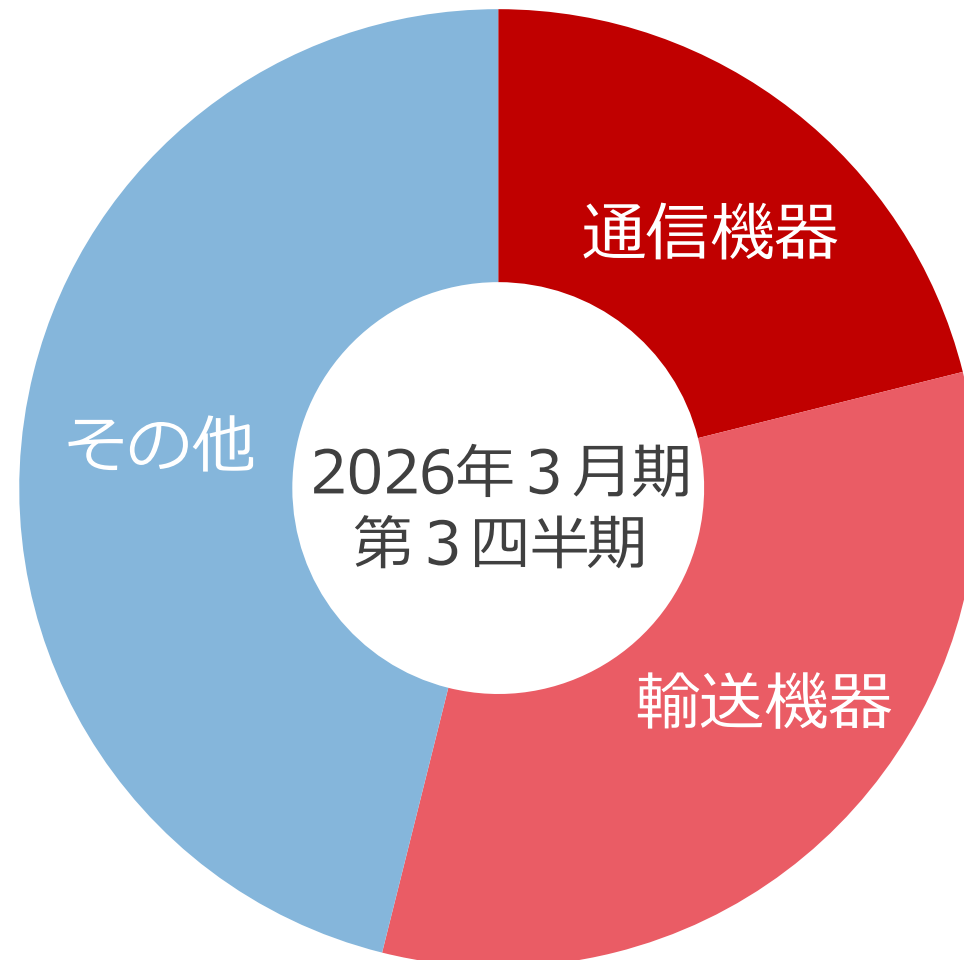
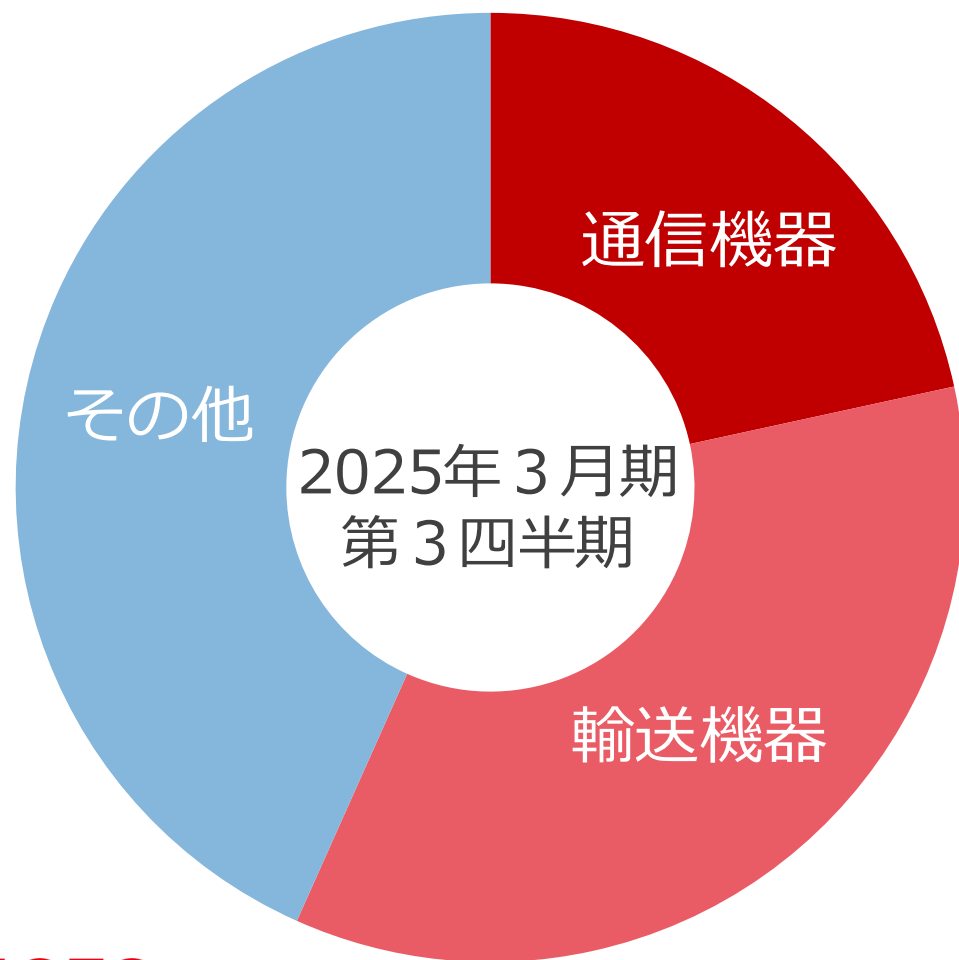
単位：百万円

	2025年 3 月期 第 3 四半期	構成比	2026年 3 月期 第 3 四半期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	719	100.0%	437	100.0%	▲ 282	▲ 39.3%
通信機器	155	21.6%	92	21.1%	▲ 63	▲ 40.6%
輸送機器	252	35.1%	143	32.7%	▲ 109	▲ 43.4%
その他	311	43.3%	201	46.1%	▲ 109	▲ 35.3%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

## 【アメリカ】売上構成

■ 事業環境の不透明感が続く中、生産量の減少により売上、利益ともに低調となりました。



【スイス】 売上構成

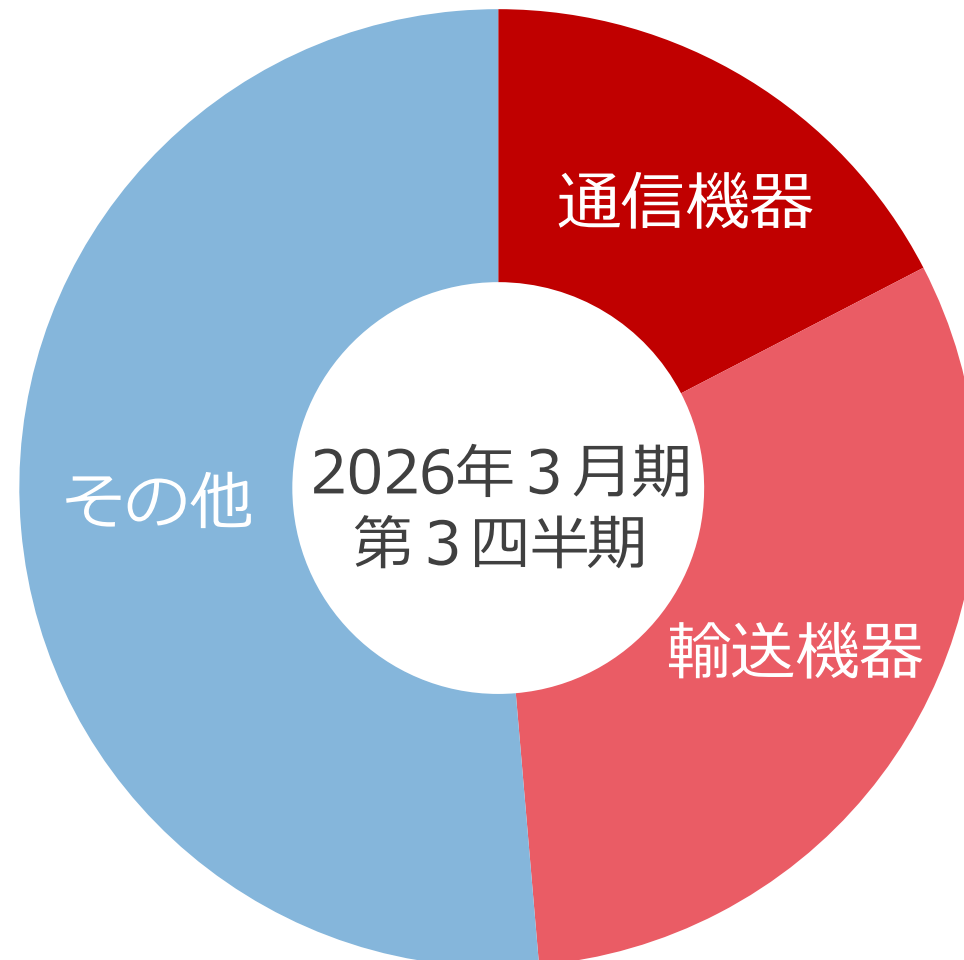
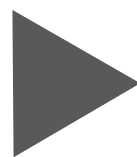
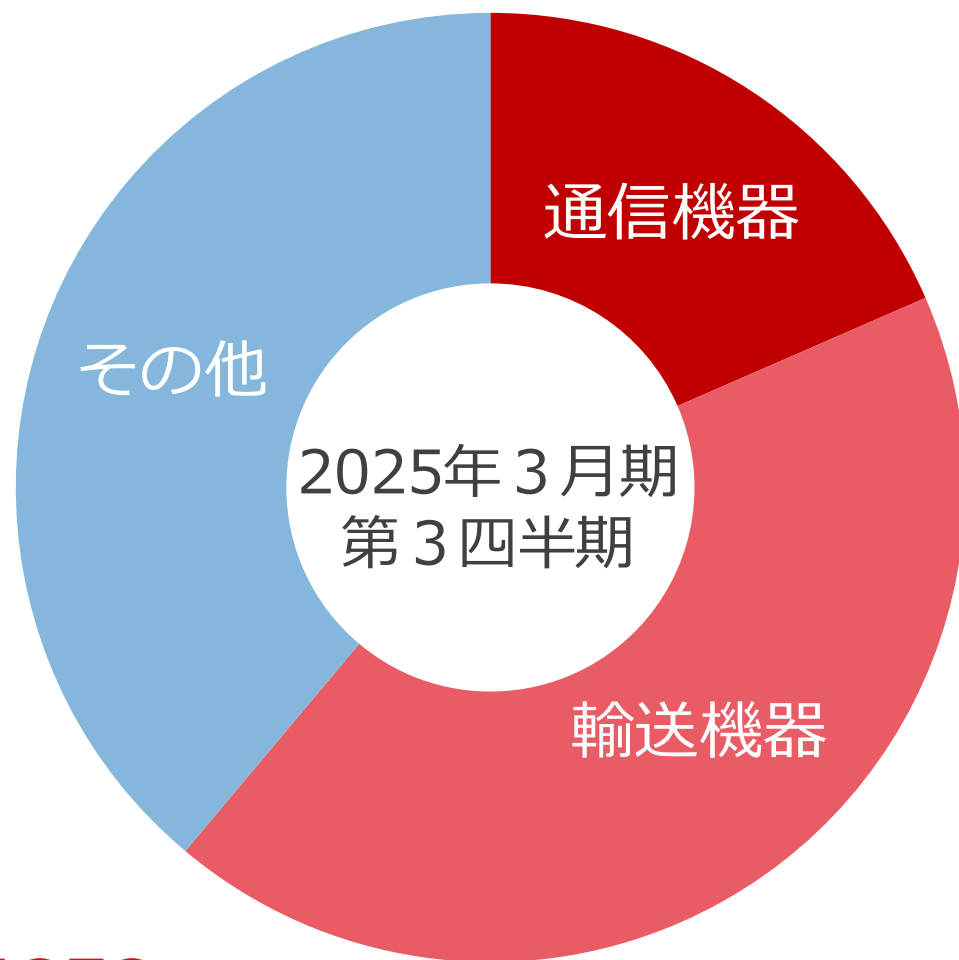
単位：百万円

	2025年 3 月期 第 3 四半期	構成比	2026年 3 月期 第 3 四半期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	559	100.0%	369	100.0%	▲ 189	▲ 33.9%
通信機器	103	18.4%	64	17.4%	▲ 38	▲ 37.5%
輸送機器	238	42.7%	115	31.3%	▲ 122	▲ 51.5%
その他	217	38.9%	189	51.3%	▲ 27	▲ 12.8%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

## 【スイス】売上構成

■自動車産業および住宅市場向け家電需要の低迷により、売上減少となりました。



【中国】 売上構成

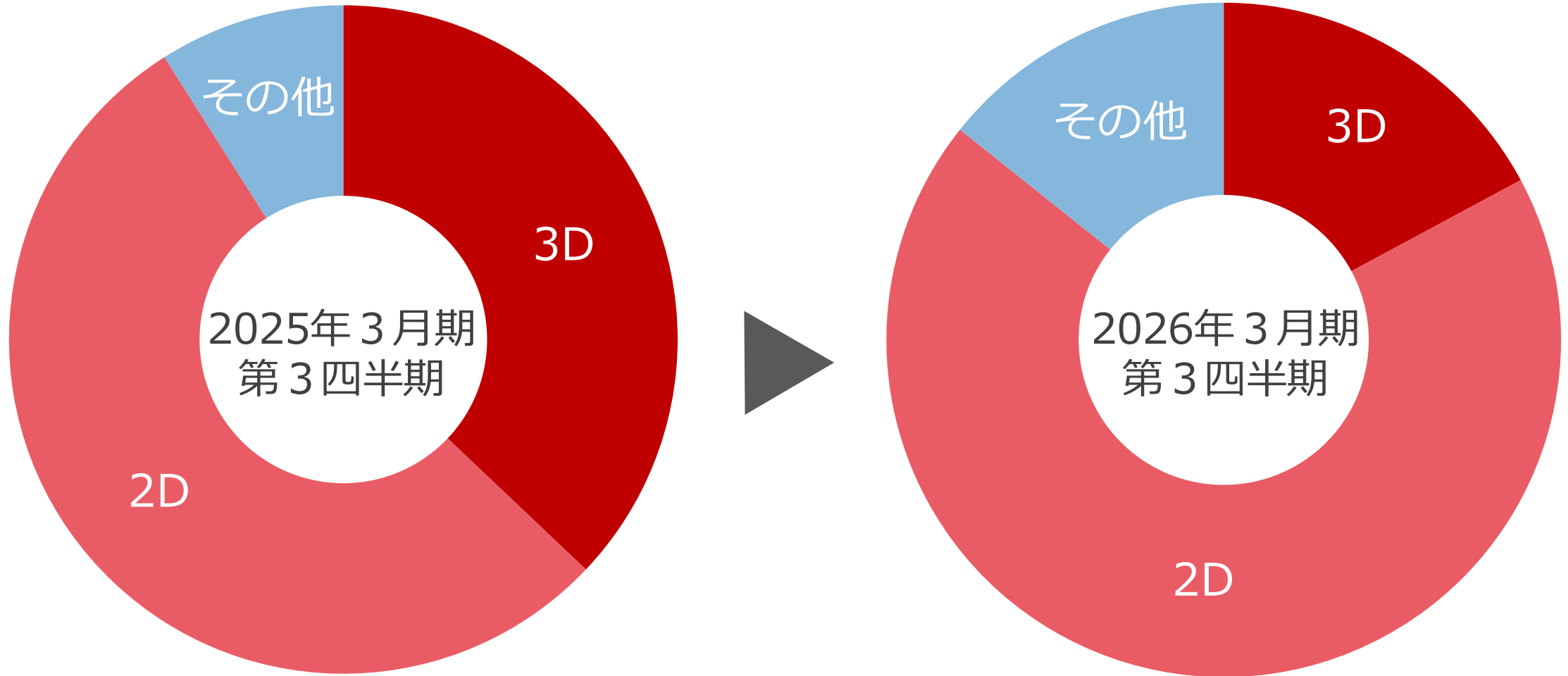
単位：百万円

	2025年 3 月期 第 3 四半期		2026年 3 月期 第 3 四半期		増減	増減率(%)
	構成比		構成比			
デジタルツイン事業	90	100.0%	72	100.0%	▲ 18	▲ 20.2%
3D	33	37.2%	12	17.7%	▲ 21	▲ 62.0%
2D	48	53.8%	48	67.4%	0	0.0%
その他	8	8.9%	10	14.9%	2	33.1%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

## 【中国】売上構成

■ 3D関連案件とソフトウェア開発およびLiDARの受注が減少したことにより売上、利益ともに低調となりました。

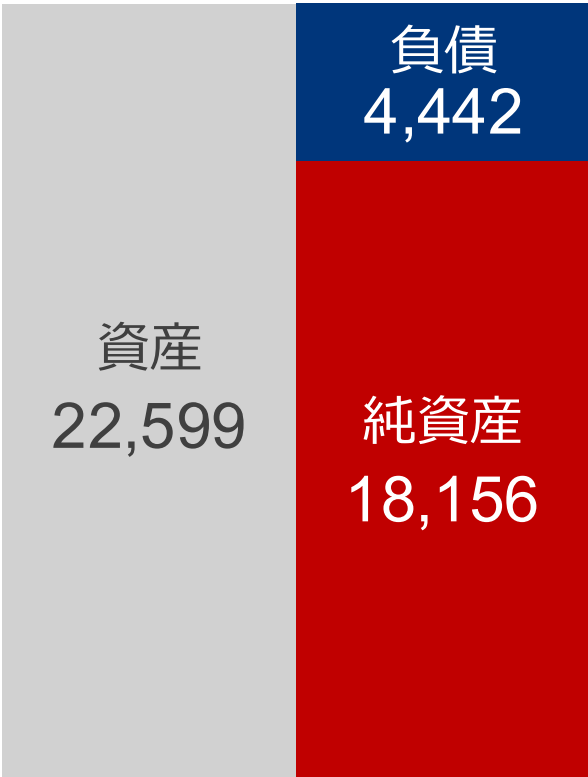




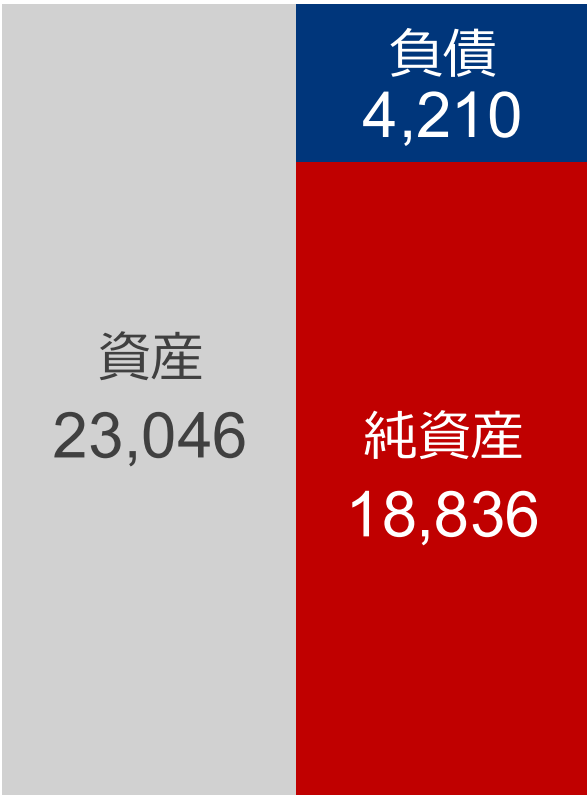
貸借対照表 [連結]

2024年 3 月期～2026年 3 月期第 3 四半期 比較

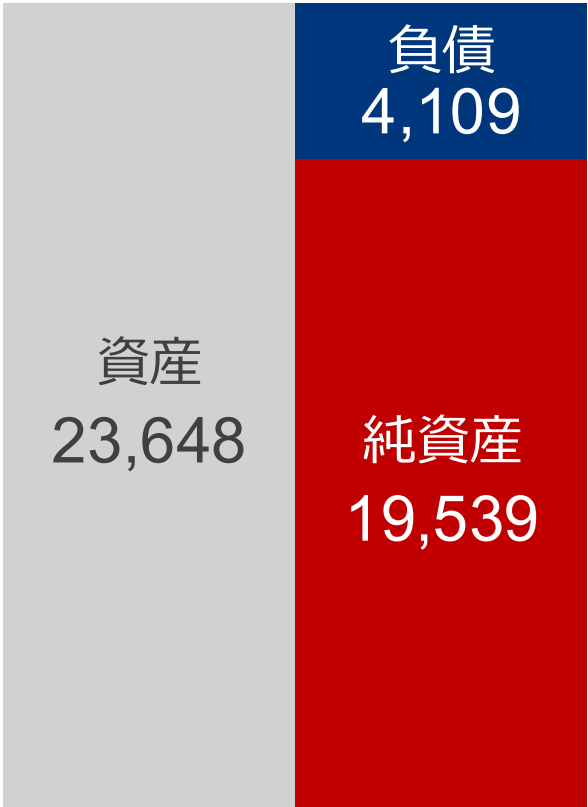
単位：百万円



2024年 3 月期



2025年 3 月期



2026年 3 月期第 3 四半期

2026年 3 月期 第 3 四半期 貸借対照表〔連結〕 主な変動要因

単位：百万円

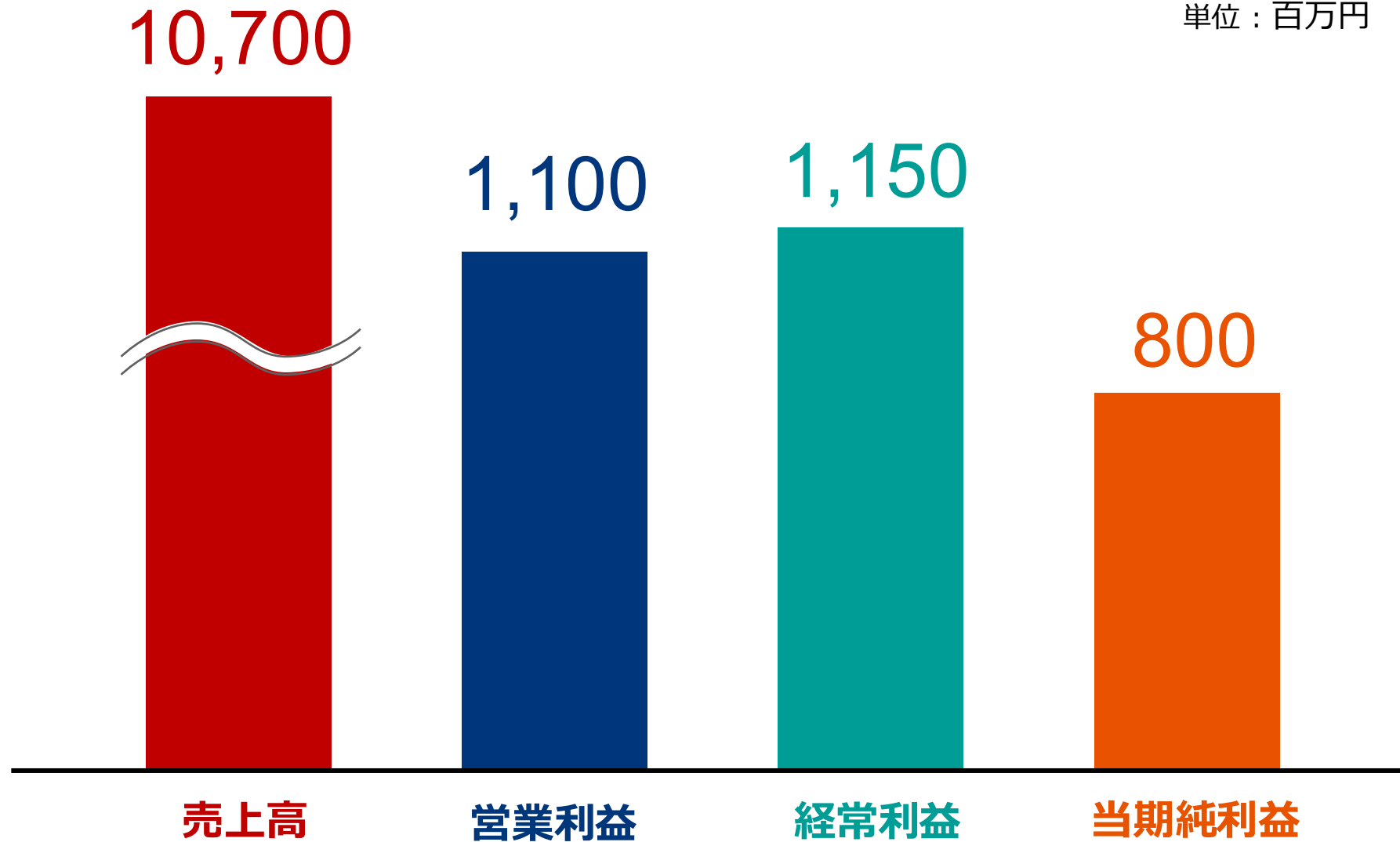
資産		対前期末比	負債		対前期末比
		602	▲101		
長期預金		206	未払法人税等		▲236
投資有価証券		135	買掛金		160
受取手形及び売掛金		113	純資産		対前期末比
			703		
			利益剰余金		430
			為替換算調整勘定		206

- 1 2026年3月期 第3四半期 決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想**
- 3 高機能材料事業
- 4 デジタルツイン事業
- 5 第6次中期経営計画進捗
- 6 会社概要



## 通期業績予想 [連結]

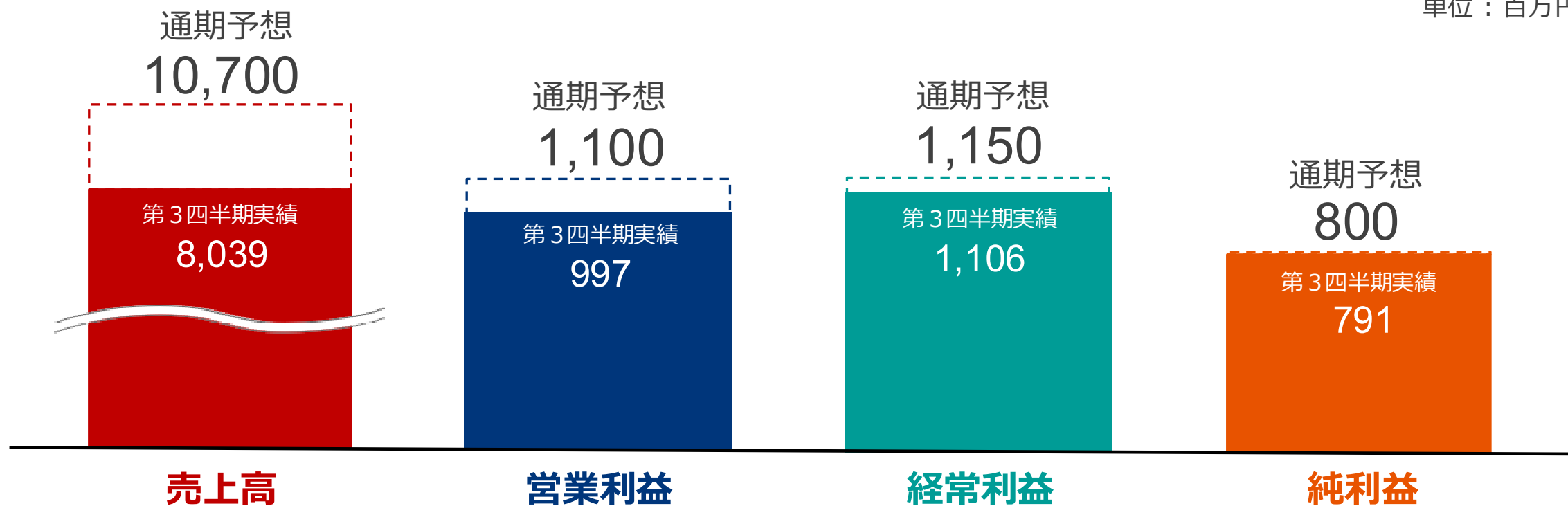
単位：百万円



## 通期業績予想 [連結]

- 現時点では通期業績に与える影響を精査中であり、今後につきましては、米国の通商政策の動向や、自動車産業の回復時期など、依然として不確実性が残る状況にあります。これらの状況を踏まえ、事業環境や需要動向を慎重に見極める必要があると判断し、通期業績予想は据え置いております。

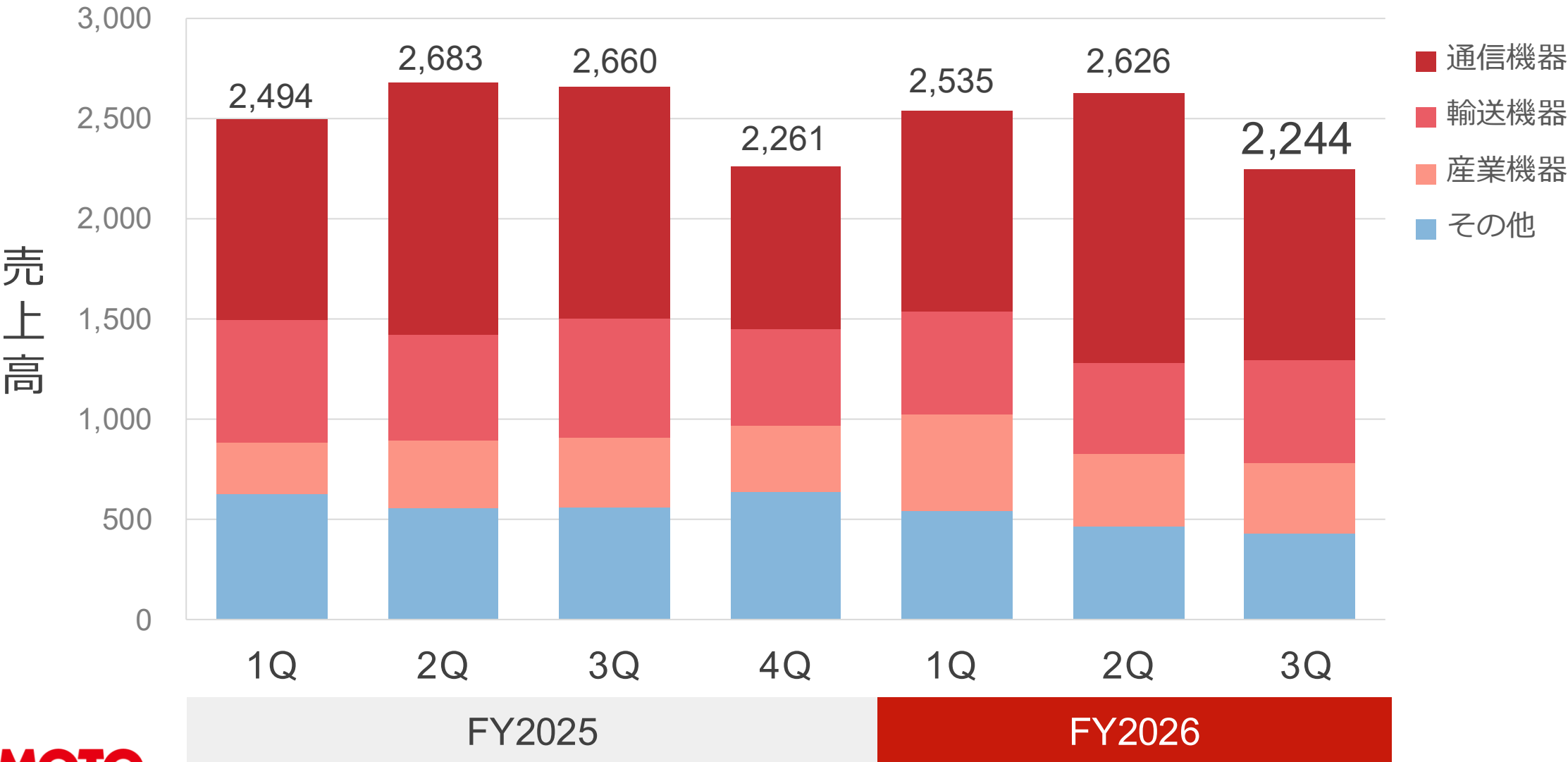
単位：百万円



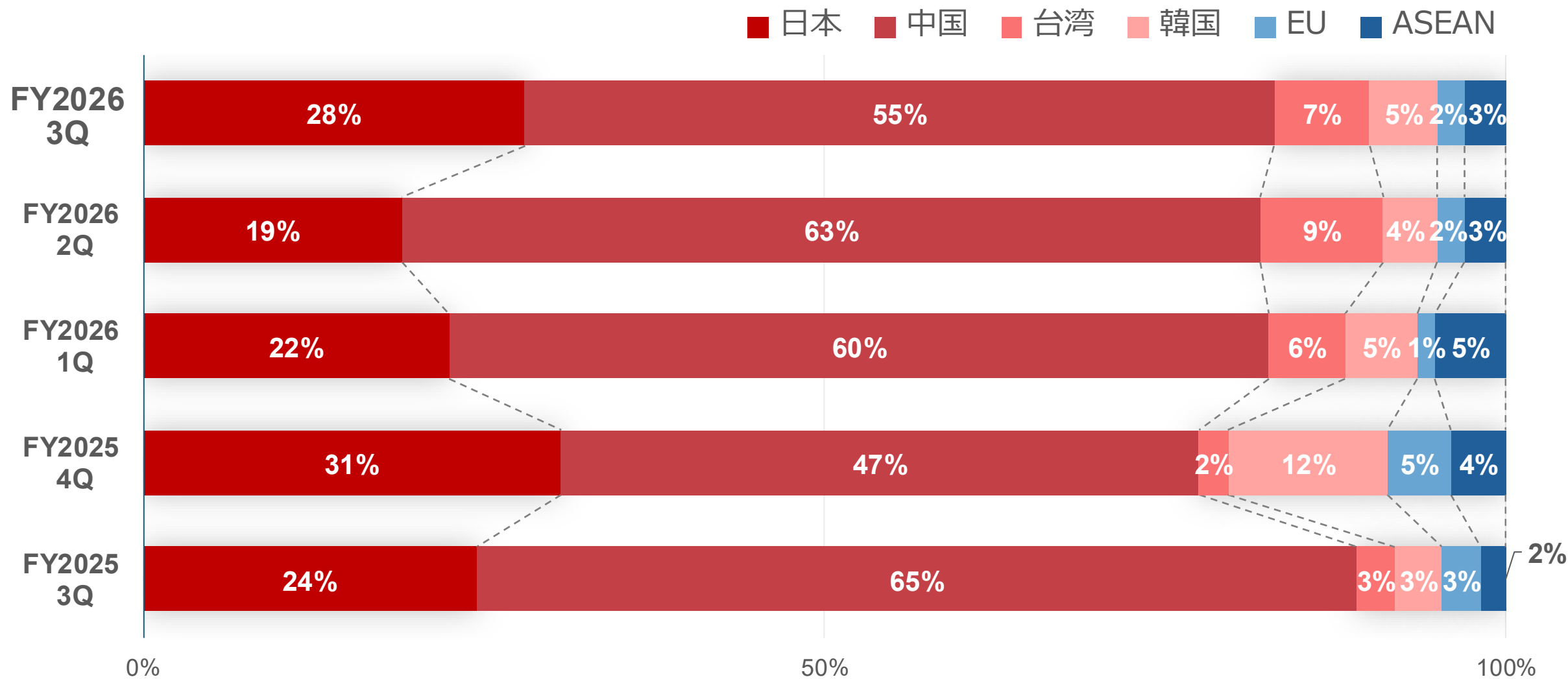
- 1 2026年3月期 第3四半期 決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想
- 3 高機能材料事業**
- 4 デジタルツイン事業
- 5 第6次中期経営計画進捗
- 6 会社概要

【日本】売上推移（四半期）

単位：百万円



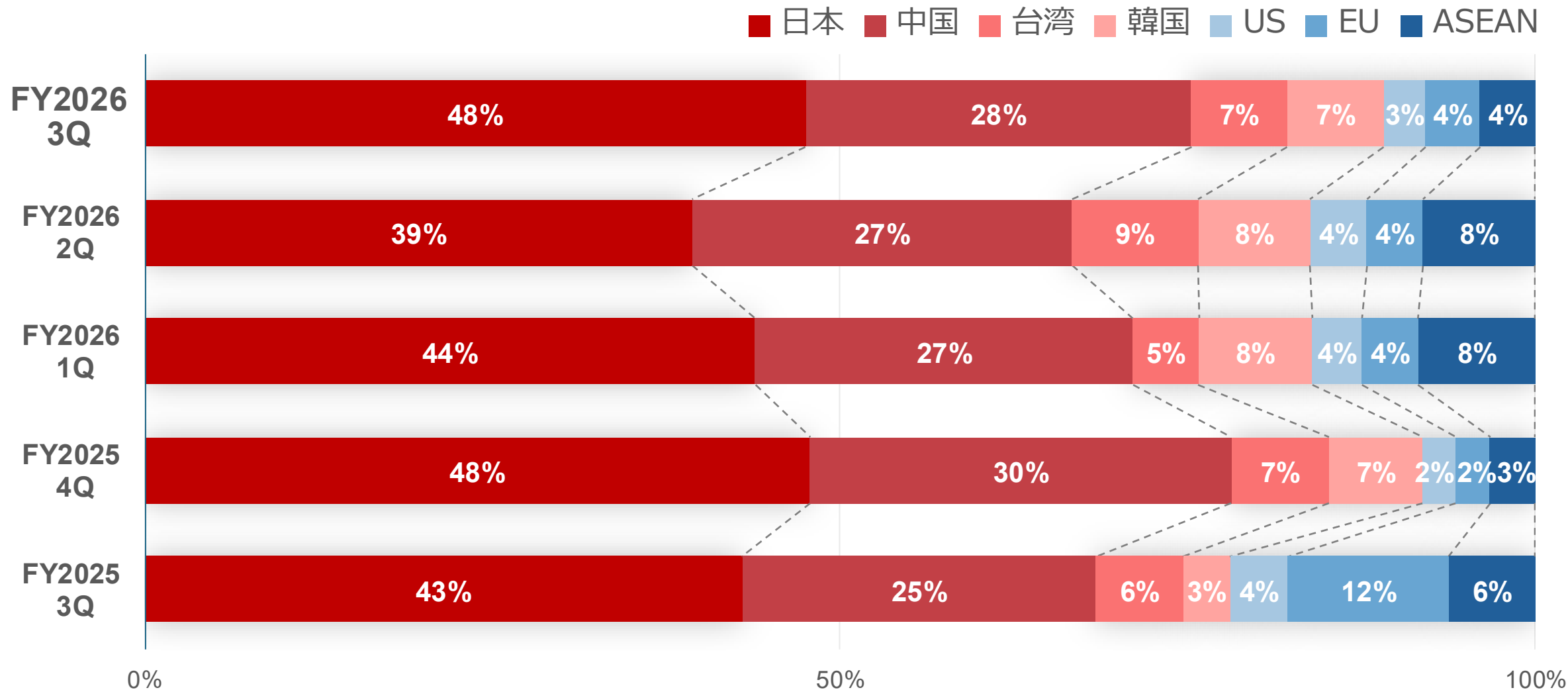
【日本】 通信機器 エリア別 主要製品 売上構成※



※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

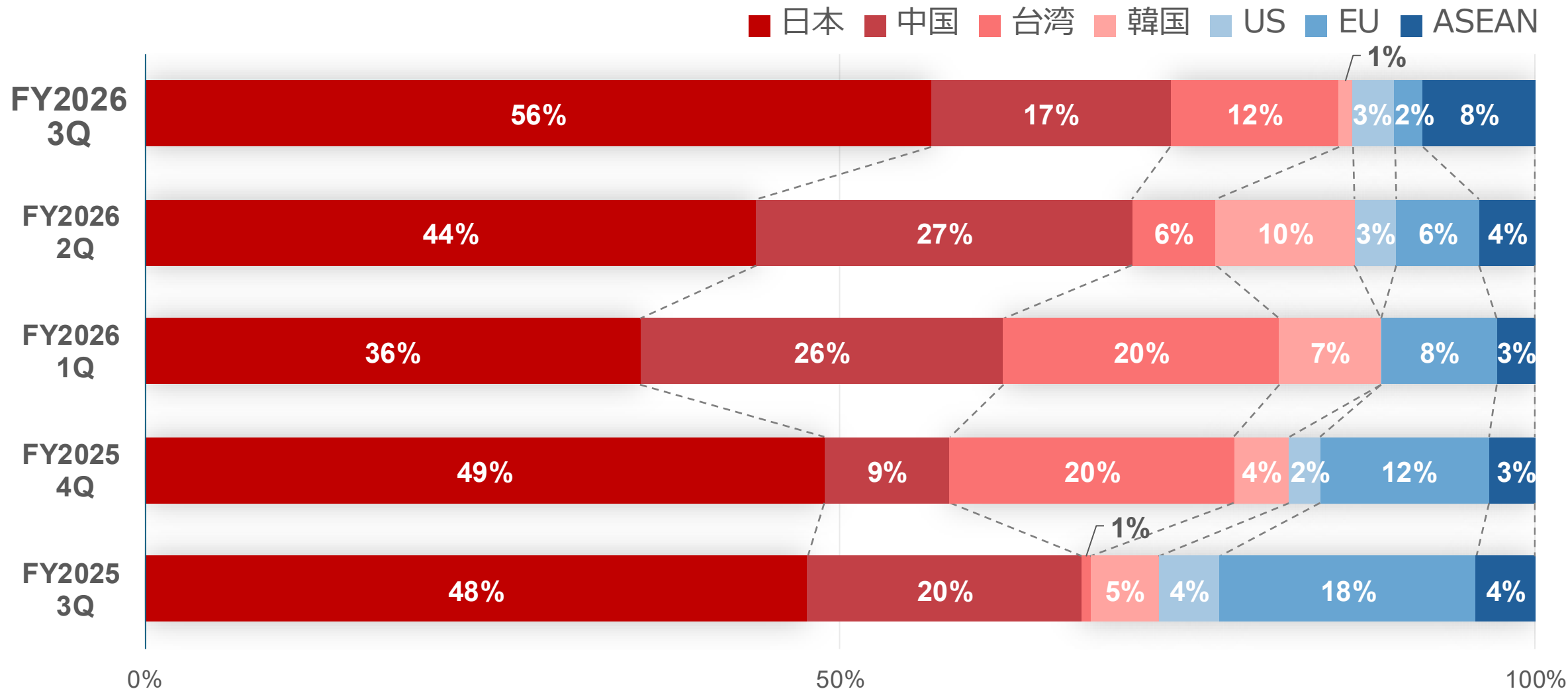


【日本】 輸送機器 エリア別 主要製品 売上構成※



※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

【日本】産業機器 エリア別 主要製品 売上構成※



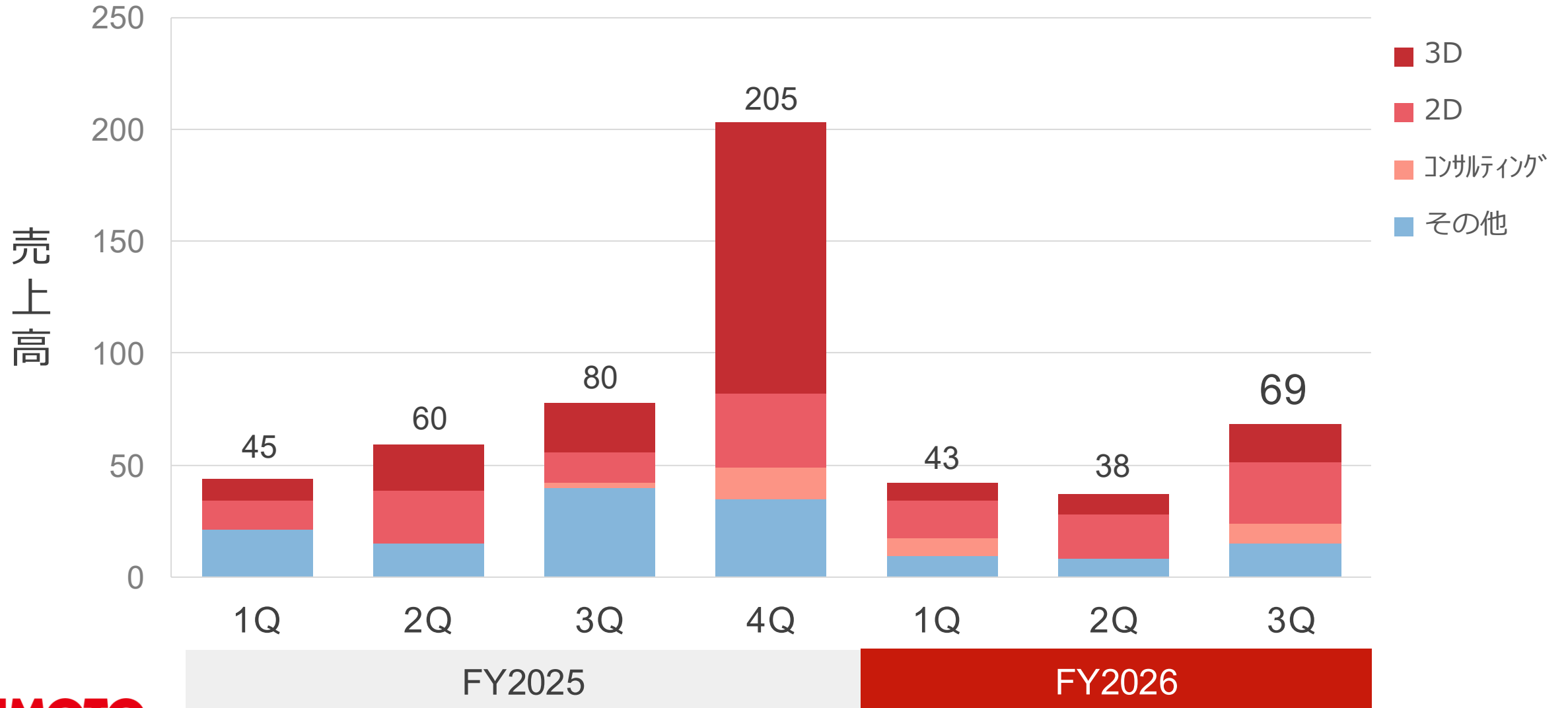
※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

- 1 2026年3月期 第3四半期 決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想
- 3 高機能材料事業
- 4 デジタルツイン事業**
- 5 第6次中期経営計画進捗
- 6 会社概要



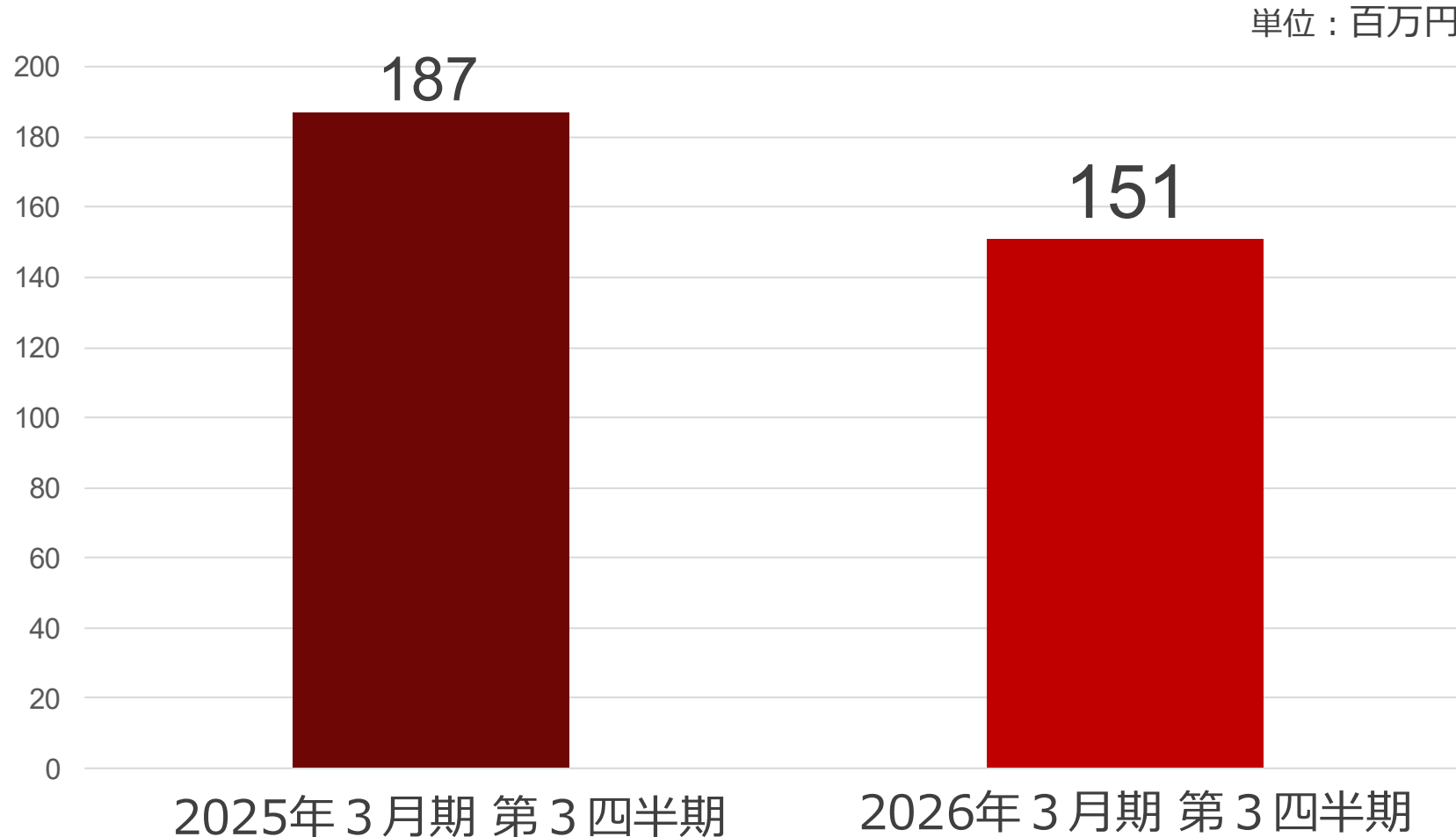
## 【日本】デジタルツイン事業売上推移（四半期）

単位：百万円



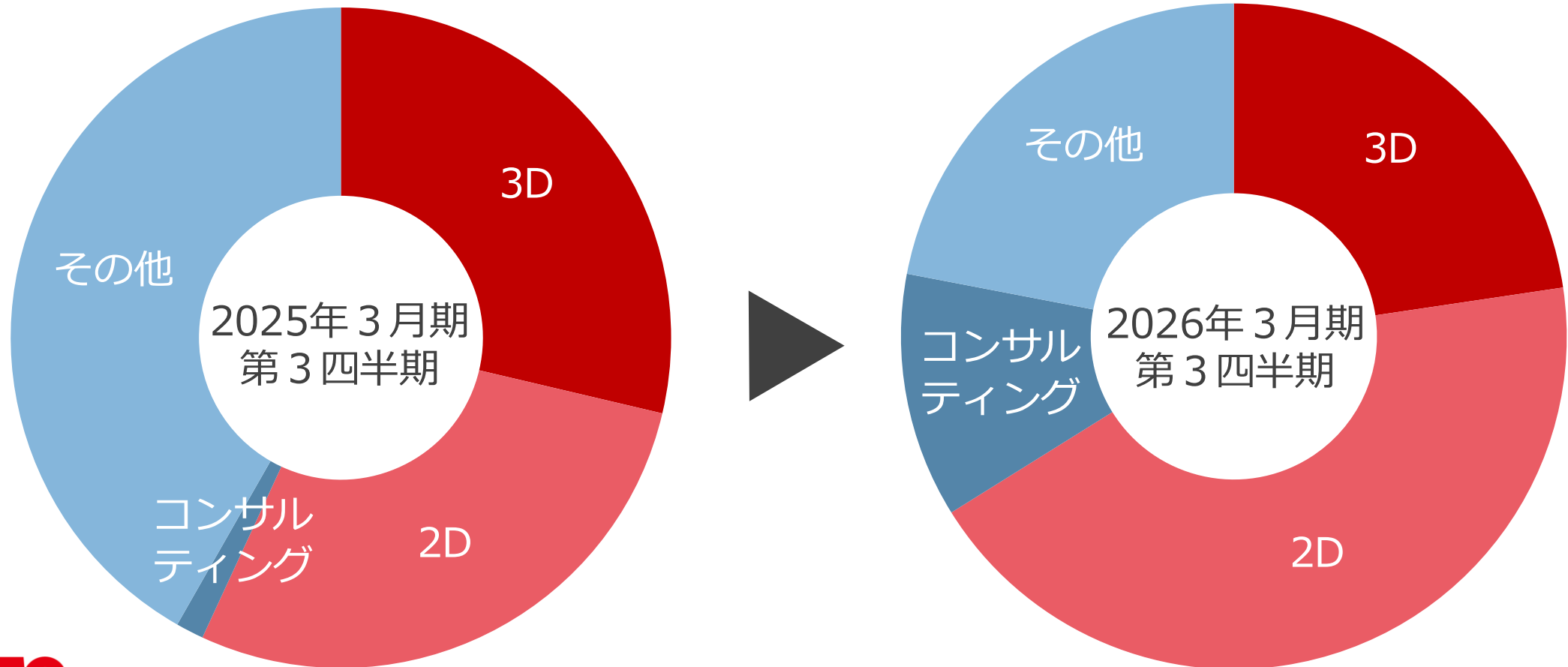
## 【日本】デジタルツイン事業売上高

■ BIM/CIM案件の減少とともに、ソフトウェア関連についても売上・利益面で課題が残る結果となりました。



## 【日本】 デジタルツイン事業売上高構成

- 3D関連は引き続き課題となっております。コンサルティング関連では、継続および新規案件での売上が増加いたしました。



- 1 2026年3月期 第3四半期 決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想
- 3 高機能材料事業
- 4 デジタルツイン事業
- 5 第6次中期経営計画進捗**
- 6 会社概要



## 2026年3月期 第3四半期の進捗

### 事業成長

- ・ **デジタルツイン事業 2028年3月期売上高 1,000百万円（目標）**

今期より運用を開始した3D新サービス「SPLAT TWIN」は、建設分野において受注・テスト運用が着実に進んでおります。あわせて、拡販のプロモーションとしてウェビナーを開催し、マーケットでの認知度向上および受注獲得につながっております。

- ・ **環境対応 2028年3月期CO2排出量 65%減（目標）**

環境負荷低減を目的とした生産インフラの計画的な更新を進めております。三重工場において電力設備の更新に着手いたしました。これにより、将来的なCO2排出量低減に加え、化学物質（PCB）に関する法規制への対応も図っております。

- ・ **技術本部 2028年3月期新製品※寄与率12%（目標） ※発売から3年以内の製品を含む**

業務フローの再構築を進める中、新製品の市場展開をより確実にするため、開発・製造が連携する新たなフォローアップ体制を始動いたしました。また、開発スピードの向上にむけたデジタルツールや新設備の導入検討など、開発基盤の高度化を進めております。



## 2026年3月期 第3四半期の進捗

### 企業マネジメント

#### ・IT・DX戦略

AIを活用した業務支援ツールを導入し、生産性の向上への取り組みを継続しております。また、近年脅威となるサイバー攻撃への対策として、情報セキュリティ教育を実施し、利便性の向上と安全性の確保の両面から、IT・DX戦略を推進しております。

#### ・人材戦略

世界的な視野と実行力を備えたマネジメント人材の育成を目的に、グループや部門の枠を超えた研修プログラムを実施しました。多様な人材が学び合う環境を通じ、次世代リーダー候補の視座を高め、グループ全体での成長を加速させます。

#### ・企業価値向上（地域貢献）

KIMOTOファームの「実りの百年米」は、2024年より有機栽培へ全面移行いたしました。2025年には一部の圃場で有機JAS認証（転換期間中）を取得し、同認証米の販売を開始しております。こうした取り組みを通じ、環境価値の創出と地域共創を進めております。

## 第6次中期経営計画 資料および動画のご案内

- ▶ 資料PDFはこちらから

<https://www.kimoto.co.jp/application/files/9117/5015/1736/20262028.pdf>

- ▶ 動画のご視聴はこちらから

[https://www.kimoto.co.jp/investor/news\\_20250523](https://www.kimoto.co.jp/investor/news_20250523)

- 1 2026年3月期 第3四半期 決算について
- 2 2026年3月期 通期業績予想
- 3 高機能材料事業
- 4 デジタルツイン事業
- 5 第6次中期経営計画進捗
- 6 会社概要**



# 会社概要

社名	株式会社 きもと （英語表記：Kimoto Co., Ltd.）
創立	1952年7月2日
代表者	代表取締役社長 小林 正一
所在地	〒511-0411 三重県いなべ市北勢町京ヶ野新田450
資本金	32億74百万円
従業員数	連結：432名／単体：355名（2025年3月末日現在）
売上高	連結112億円（2025年3月期）
上場市場	東証スタンダード市場（証券コード：7908）



創業当時  
航空写真現像・図面複製業務の様子

創業社長  
木本 氏仁

おかげさまで  
数々の賞と選定を  
いただいております



令和5年度 Nextなでしこ  
共働き・共育て支援企業  
（経済産業省選定）



日経サステナブル総合調査  
スマートワーク経営編 3.5つ星  
（日本経済新聞社）



日経サステナブル総合調査に  
基づくスマートワーク経営に  
優れた企業として選出  
（日本経済新聞社）

- 建設事業関係功労者等  
国土交通大臣表彰
- 日本国土調査測量協会より  
国土交通大臣表彰を受賞



# 沿革



# 国内・海外拠点



- 国内主要拠点
- 海外主要拠点
- リモート拠点



## 国内 Japan

### 三重県／三重工場



#### コーティングマシン

塗工幅 MAX 1,600mm  
塗膜厚み 0.5μm～40μm

#### Clean Class

作業エリア Class 1,000 / コーティング  
マシンエリア Class 1,000 /  
コーティングヘッド Class 100

### 茨城県／茨城工場



#### サンドブラストマシン

加工幅 MAX 1,300mm  
加工厚み 25μm～350μm  
加工粗さ 0.3μm～0.8μm

#### 少量塗工機「APOLO」

塗工幅 MAX 300mm  
基材 PET、アクリル、TAC、PC  
塗工 ダイ、グラビア、バー



## 海外 Overseas

### アメリカ／ジョージア州



#### コーティングマシン「Line2」

塗工幅 MAX 1,550mm  
塗膜厚み MAX 100μm  
塗工 ダイ、グラビア、バー

#### 少量塗工機「LC3」

塗工幅 MAX 770mm  
基材 PET、アクリル、TAC、PC  
塗工 ダイ、グラビア、バー

### 中国／瀋陽



#### データセンター

BIM/CIMデータ作成  
3Dデータ作成  
製造業DX向けデータ作成  
アプリケーション開発



# 事業内容



機能性フィルム開発・製造  
高機能性液開発・製造

## 高機能材料 事業

High Performance  
Materials



働き方改革  
製造業DX

## コンサルティング 事業

DX Consultant

## デジタルツイン 事業

Digital Twin



BIM/CIMデータ  
アプリケーション開発



地域活性活動  
米栽培  
ダリア園運営

## ファーム 事業

Kimoto Farm

KIMOTO

Building  
a New Era  
of Value





つながる“すべてのモノ”が環境にやさしくあるために  
私たちのノウハウで貢献する未来

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。  
本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものであります。  
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性がございます。